

IBM Video Streaming

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

各エディションには、決まった数の IBM Video Streaming 「インスタンス」の機能と、必要なビューアー、チャンネルおよびストレージの使用許諾が含まれます。各エディションには、「インスタンス」を購入したり、ビューアー、チャンネルおよびストレージについて固有の数量を選択したりする選択肢があります。これらのエディションでは、ビューアーの使用許諾について超過分が許可されていますが、チャンネルやストレージの使用許諾を増やすことはできず、チャンネルやストレージには超過料金が適用されません。

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Video Streaming

IBM Video Streaming のインスタンスには以下のフィーチャーが含まれます。

- a. ライブ・ストリーミング・コンテンツ作成およびビデオ・アセットのアップロードのためのツール
- b. ビデオ・コンテンツ管理システム (CMS)
- c. ライブ・ストリーミング機能
- d. 予め録画してあるビデオ・コンテンツのリニア・ライブ・プレイバック
- e. 入力ライブ・ストリーミングおよび録画ビデオ・ファイルについて追加の形式およびビットレートへのトランスコーディングを介した複数デバイスのプレイバック最適化、および適応ビットレート・プレイバック
- f. ソフトウェア定義済み CDN (SD-CDN) アーキテクチャーによって制御される複数コンテンツ・デリバリー・ネットワーク (CDN) を介したグローバル・ストリーム・デリバリー
- g. ライブ・プレイヤー、チャットおよびビデオ・ギャラリーによりホストされた表示ページ
- h. ライブ・コンテンツおよびオンデマンド・コンテンツのための HTML5 互換の組み込み可能なプレイヤー
- i. ビューアーのためのホワイトレーベル・ビデオの体験 (プレイヤーおよび関連機能のブランドをカスタマイズすることを含む)
- j. 構成可能な組み込み型ビデオ・プレイヤー、ビデオ・ギャラリーおよびチャット / ソーシャル・ウィジェット
- k. コンテンツの読み込みおよび書き出し、チャンネルの作成、表示エクスペリエンスのカスタマイズ、アクセス管理および解析検索のための API
- l. コンテンツ使用量およびデリバリー・エクスペリエンス品質 (QoE) 測定を含むビデオ解析
- m. パスワード、URL または地理ベースの制限によってコンテンツに対するアクセスを制限するために設計されたフィーチャー
- n. アカウントを管理するユーザーを追加する機能 1 名のマスター・アカウント管理者に対し、追加のアカウント管理者は、アカウント内のコンテンツおよび設定を管理するために追加することができます。
- o. お客様が行う開発作業により、モバイルおよび接続デバイス・プラットフォーム用のカスタム・アプリケーションの作成に使用できるソフトウェア開発キット (SDK)
- p. ビューアーの登録情報を取得し、登録者の電子メールにより、視聴率を追跡するためのフィーチャー

お客様は、上記の IBM Video Streaming のインスタンスおよび以下のそれぞれの最小数量に対して使用許諾を取得するか、エディションのいずれか 1 つを購入しなければなりません。

1.1.2 IBM Video Streaming Viewer

「時間」単位で課金され、100 の増分単位で利用できます。ビューアー時間は、ビューアーによるビデオの消費量の測定値になります。これは、コンテンツ・プロバイダーによるコンテンツの長さまたはストリーミングの時間とは無関係です。

1.1.3 IBM Video Streaming Channel

1 の増分単位で利用できます。チャンネルは、ライブまたは録画ビデオ・コンテンツのための固有のストリーミング・パスを提供します。複数チャンネルは、ライブ・コンテンツのいくつかの異なる部分を一度にストリーミングするか、または、さまざまなアクセス管理またはプレイヤー設定によって、録画コンテンツの異なるグループを組み込む方法を提供します。各チャンネルには、それぞれカスタマイズ可能なチャンネル・ページがあります。

1.1.4 IBM Video Streaming Storage

「ギガバイト」単位で課金され、10 の増分単位で利用できます。ストレージは、システムに追加された当初のアップロードされたビデオまたはアーカイブされたライブ・ストリームに、バックアップとこれらのアップロードされたファイルの複数の低解像度およびビットレート版を加えたファイル・サイズとして規定されます。

1.1.5 IBM Video Streaming Silver Edition

IBM Video Streaming のすべての機能が含まれ、それぞれの数量が事前設定されます。

- a. 5 チャンネル
- b. 1 TB のストレージ
- c. 100 ビューアー時間

1.1.6 IBM Video Streaming Gold Edition

IBM Video Streaming のすべての機能が含まれ、それぞれの数量が事前設定されます。

- a. 10 チャンネル
- b. 2 TB のストレージ
- c. 2,000 ビューアー時間

1.1.7 IBM Video Streaming Platinum Edition

IBM Video Streaming のすべての機能が含まれ、それぞれの数量が事前設定されます。

- a. 20 チャンネル
- b. 5 TB のストレージ
- c. 5,000 ビューアー時間

1.1.8 IBM Enterprise Video Streaming

IBM Enterprise Video Streaming の「インスタンス」には以下のフィーチャーが含まれます。

- a. ライブ・ストリーミング・コンテンツ作成およびビデオ・アセットのアップロードのためのツール
- b. ビデオ・コンテンツ管理システム (CMS)
- c. ライブ・ストリーミング機能
- d. 予め録画してあるビデオ・コンテンツのリニア・ライブ・プレイバック
- e. 入力ライブ・ストリームおよび録画ビデオ・ファイルについて追加の形式およびビットレートへのトランスコーディングを介した複数デバイスのプレイバック最適化、および適応ビットレート・プレイバック
- f. ソフトウェア定義済み CDN (SD-CDN) アーキテクチャーによって制御される複数 CDN を介したグローバル・ストリーム・デリバリー

- g. ライブ・プレイヤー、チャットおよびビデオ・ギャラリーによりホストされた表示ページ
- h. ライブ・コンテンツおよびオンデマンド・コンテンツのための HTML5 互換の組み込み可能なプレイヤー
- i. ビューアーのためのホワイトレーベル・ビデオの体験 (プレイヤーおよび関連機能のブランドをカスタマイズすることを含む)
- j. 構成可能な組み込み型ビデオ・プレイヤー、ビデオ・ギャラリー、チャット および質疑応答モジュール
- k. コンテンツの読み込みおよび書き出し、チャンネルの作成、表示エクスペリエンスのカスタマイズ、アクセス管理および解析検索のための API
- l. コンテンツ使用量およびデリバリー・エクスペリエンス品質 (QoE) 測定を含むビデオ解析
- m. ライブおよびオンデマンドのコンテンツを視聴するためのカスタマイズ可能なポータルおよびチャンネル・ページ
- n. 社内のディレクトリーと統合して、ユーザーにシングル・サインオン (SSO) エクスペリエンスを提供する機能
- o. 個々の視聴履歴を見るために、個々のビューアーを追跡

お客様は、上記の IBM Enterprise Video Streaming の「インスタンス」および以下のそれぞれに対して最低数量の使用許諾を取得しなければなりません。

a. **IBM Enterprise Video Streaming Viewer**

「許可ユーザー」単位で課金され、1 の増分単位で利用できます。本フィーチャーは、「許可ユーザー」がコンテンツを提供、視聴するかまたは管理インターフェースにアクセスすることを可能にします。

b. **IBM Enterprise Video Streaming Channel**

1 の増分単位で利用できます。チャンネルは、ライブまたは録画ビデオ・コンテンツのための固有のストリーミング・パスを提供します。複数チャンネルは、ライブ・コンテンツのいくつかの異なる部分を一度にストリーミングするか、または、さまざまなアクセス管理またはプレイヤー設定によって、録画コンテンツの異なるグループを組み込む方法を提供します。各チャンネルには、それぞれカスタマイズ可能なチャンネル・ページがあります。

c. **IBM Enterprise Video Streaming Storage**

「ギガバイト」単位で課金され、10 の増分単位で利用できます。ストレージは、システムに追加された当初のアップロードされたビデオまたはアーカイブされたライブ・ストリームに、バックアップとこれらのアップロードされたファイルの複数の低解像度およびビットレート版を加えたファイル・サイズとして規定されます。

1.1.9 IBM Enterprise Content Delivery Network (ECDN)

本「クラウド・サービス」によって、お客様は、一部の「インスタンス」を有効化して企業ネットワーク内でビデオストリームをキャッシュして提供したり、Web ベースの管理ポータルを有効化してこれらの「インスタンス」を構成、管理、モニタリングしたりできます。

1.2 オプション・サービス

お客様は選択したパッケージで利用できるオプションを選択できます。

1.2.1 IBM Video Streaming Premium Transcode

チャンネルごとに、現在の解像度より 1 レベル高い解像度でのトランスコーディングを可能にします。

1.2.2 IBM Video Streaming Ad Configuration Setup

本サービスは、単一の Video Ad Serving Template (VAST)、Video Player Ad-Serving Interface Definition (VPAID) 広告タグ、または、単一チャンネルのために直接ホストされた制作物のコンフィギュレーションを提供します。お客様は、提供された仕様書に一致する VAST または VPAID 対応 URL またはメディア

ア・アセットを提供しなければなりません。本番で使用する前に広告タグを設定し、テストするためには、1週間前までに通知する必要があります。

1.2.3 IBM Video Streaming Ad Configuration Changes

本サービスは、サブスクリプション・ベースまたは従量課金ベースで利用可能です。広告コンフィギュレーションの既存のタグ、クリエイティブ、ターゲティング、頻度または他の側面を変更するために、お客様からの要求に基づき変更を許可します。

1.2.4 IBM Video Streaming Live Event Management Service

ライブ・ストリーミング・イベントを準備、テストして提供するためのチャンネルおよび設定のコンフィギュレーションを行うために、最大8時間のライブ・イベント専用スペシャリストによるサービスを提供します。ライブ・イベントのモニタリングおよびイベント終了後のビューアー・パフォーマンス報告の提供を含みます。8時間を超えるサービスは、2日目のイベント日として課金されます。

1.2.5 IBM Enterprise Video Streaming Premium Transcode

チャンネルごとに、現在の解像度より1レベル高い解像度でのトランスコーディングを可能にします。

1.3 アクセラレーション・サービス

1.3.1 IBM Enterprise Video Streaming Live Event Management Services

ライブ・ストリーミング・イベントを準備、テストして提供するためのチャンネルおよび設定のコンフィギュレーションを行うために、最大8時間のライブ・イベント専用スペシャリストによるサービスを提供します。ライブ・イベントのモニタリングおよびイベント終了後のビューアー・パフォーマンス報告の提供を含みます。8時間を超えるサービスは、2日目のイベント日として課金されます。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

IBM Video Streaming

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=78CD1530F1E111E5AB71ED9BDE923226>

IBM Enterprise Video Streaming

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=83D3F5A007FF11E69D95DC1E5200D075>

IBM Enterprise Content Delivery Network

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=2B875DE05FE511E6865BC3F213DB63F7>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サー

ビスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- a. 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- b. 「イベント」は、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントが 1 回発生することをいいます。
- c. 「ギガバイト (GB)」は、「クラウド・サービス」によって処理されるか、「クラウド・サービス」において分析、使用、保管、または構成される、2 の 30 乗バイトのデータです。
- d. 「時間」とは、「クラウド・サービス」を使用する 1 時間です。
- e. 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- f. 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。